

第2回会議での意見（振り返り）

1. 本市の目指すべき姿・基本理念について		意見に対する対応
(1)	工業振興計画において、達成できたこととできなかったこと（課題）を踏まえるべき。	<p>いただいた御意見を踏まえて、計画の「目指すべき姿」と条例の「目的」「基本理念」を整理しました。</p> <p>御意見によっては、「目指すべき姿」や「目的」「基本理念」の表現に直接反映されていないものもございますが、例えば、「目指すべき姿」の考え方や「戦略」「施策」の設定を事務局にて検討する上での参考とさせていただきます。</p>
(2)	地域経済循環の視点も捉えながら検討してはどうか。	
(3)	何を主体として、どういうことを目指すのか示すべき。	
(4)	新産業創出のため、市内事業者・起業家とどのようにして接点を持つべきかという視点が必要。	
(5)	計画における「健幸」の考え方をどのように捉えていくか。	
(6)	「持続可能な事業活動」というフレーズはキーワードとして相応しい。	
(7)	「SDGs」「カーボンニュートラル」など時代の変化を捉えたキーワードは必要。	
(8)	個々のキーワードを全て記載することは難しいので、「社会的価値と経済的価値の両立」などの表現により示していくと良いのではないか。	
(9)	滋賀県内、草津市周辺でのサプライチェーンの完結を目指せる可能性があり、そのポテンシャルがある。	
(10)	草津市といえば〇〇といったものが必要。（認知度の低さに対する視点）	
(11)	人の流れ、時代の流れを捉えて「流」という表現はあってもよいと思う。「10年後に推したいもの・核になるもの」をしっかりと見据えるべき。「健幸（健康）」はみんなが共有できる文言ではないか。	
(12)	現状、草津市は恵まれた環境にあるため、固有の課題が見えずらく危機感が薄い。	
(13)	創業支援の成功事例をアウトプットし、市内定着や税収・雇用確保につながるような取組が必要。	
(14)	開業率と廃業率を分析すべき。	
(15)	企業の立地適地（産業用地・オフィス）に関する情報発信の仕組が必要。	
(16)	支援施策等については部局横断的に集約し、効果的な情報発信に取り組むべき。	
(17)	中小企業等へのデジタル化・DX推進に対する支援のありかたを検討すべき。	

2. 各主体に求められる役割について		意見に対する対応
全体	各主体の位置付けを整理する必要がある。（「役割」「責務」「協力」「理解と協力」など）	各主体の位置付けを「役割」に統一させていただきました。
定義	「市民」の定義を整理する必要がある。	各主体の定義について整理し、相関図を作成いたしました。
	「教育機関」の定義を整理する必要がある。	
	各主体の関係性が分かるように相関図を用意した方が良い。	
行政	教育機関に「研究開発に対する支援」とあるが、行政にしかできないこともあるので「行政」の役割にも記載できないか。	いただいた御意見を踏まえ、行政の役割について、各主体との連携を含めて具体的に規定いたしました。
	「行政」の定義を整理する必要がある。基本理念に基づき産業振興が行われるよう周知させるだけなのか。	
	「産学官金連携」など、各主体との連携を進めることに努めるといったことを補足してはどうか。	
金融機関	「持続的な発展・事業活動を支援する」といった視点から、「持続的な」という文言があってもいい。	「持続的な」という文言を使用させていただきました。
事業者	事業者の規模によって支援の仕方も異なり、担う役割も違うと思うので、分けるべきではないか。	いただいた御意見を踏まえ、事業者の定義および役割について整理いたしました。
	事業活動で地域に貢献していればそれで良いと思うので、わざわざ「地域活動」という文言を明示しなくても良いのではないか。	
	事業者の役割における「自主的に」という文言がわざわざ必要なのか。	
教育機関	研究開発だけではなく、マーケティングなど色々な側面で支援し得るので、もっと幅広く記載して良いのではないか。	研究開発に限定することなく、表現を変更いたしました。